

ABU賞でNHKの2作品が受賞！

ABU（アジア太平洋放送連合）加盟の放送機関が制作したテレビ・ラジオ番組の中で優れた作品に贈られるABU賞の授賞式が30日、トルコで行われました。今年はテレビ・ラジオあわせて13部門に246作品（テレビ154作品、ラジオ92作品）の応募があり、NHKの1作品が、部門最優秀賞に当たる「ABU賞」を受賞したほか、奨励賞が贈られました。

★ABU賞

ラジオ：ドラマ番組部門

FMシアター「真昼の流れ星」 2014年6月14日放送（50分）

愛する人を失った時、遺された家族はその痛みとどう向き合っていくのか。はたして喪失感は分かち合えるのだろうか。最愛の息子を突然の事故で失った中年夫婦。それまで一見仲が良さそうにみえたこの夫婦の間に、静かな亀裂が走る。二人は、これまでお互いを、息子を通じてしか見てこなかったことに気づく。そんな彼らが、すれ違ったりぶつかり合ったりしながらも、如何にして息子の死を受け入れ、もう一度夫婦として向き合っていくのか…。夫婦の日常をきめ細かに見つめることで描き出す、夫婦再生の物語。



★奨励賞

テレビ：スポーツ番組部門

勝てない相手はいない ～錦織圭 成長の軌跡～ 2015年1月12日放送（43分）

世界ランキング12位から5位へ。2014年、急成長を遂げたテニスの錦織圭。成長のきっかけは、コーチのマイケル・チャンとの出会いだった。同じアジア系ながら世界2位になったチャンコーチが錦織に植え付けたのは「自分を信じる強い心」。チャン自身のメモと錦織のプレーの進化を裏付けるビッグデータ（試合中の選手とボールの全位置情報）をもとに、成長の軌跡を描く。

<ABU賞について>

ABUは、1964年に発足したアジア太平洋地域の放送の発展を図るために協力する放送機関の連合体。68の国と地域から、270を超える放送・放送関連機関が加盟。ABU賞は、第1回ABU総会以来、毎年、年次総会にあわせて授賞式が行われています。テレビ7部門（ドラマ／ドキュメンタリー／エンターテインメント／子ども／ニュース／スポーツ／ABU視点）、ラジオ6部門（ドラマ／ドキュメンタリー／ニュース／社会サービス告知／双方向／オンエア・パーソナリティ）の各部門の最優秀作品にそれぞれABU賞が贈られます。